

2006年7月31日

株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライ
東洋電機製造株式会社

鉄道用電力貯蔵装置を新発売
【環境対策と電力の安定供給を実現します】

産業用電池製造・販売大手の株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライ（社長：依田 誠、本社：東京都港区）と鉄道車両用電機品製造・販売大手の東洋電機製造株式会社（社長：甲斐 邦朗、本社：東京都中央区）は両社の技術を組み合わせ、電力の安定供給とともに環境負荷の低減を実現した鉄道用電力貯蔵装置の製造・販売を8月1日より開始いたします。

電車の運行が多い時間帯において、電車線電圧の降下により加速力が不足するなどの可能性があります。従来は、新たな変電所の設置などで改善する方法が取られていますが、大きなコストがかかります。両社はこのようなコストの低減を目的とするとともに、地球環境配慮の観点から電力の安定化供給と回生電力吸収や電力ピークカットの機能を持たせることで省エネルギー化を可能にする鉄道用変電所アシストシステムとして本製品を共同開発いたしました。

本製品は鉄道沿線の屋外設置タイプで、ジーエス・ユアサ パワーサプライの新型大容量リチウムイオン電池と、東洋電機製造の可逆式DC/DCコンバーター制御盤で構成しています。新型大容量リチウムイオン電池は従来品に比べ、急速充放電特性に優れた小形・軽量タイプで、可逆式DC/DCコンバーター制御盤は鉄道車両用の技術を応用した高機能タイプです。

両社は本製品を鉄道事業の省エネ化や地球環境保護に有効な商品として、今後100台以上の市場需要を見込み、販売活動を展開いたします。

【発 売 日】 2006年8月1日

【販売目標】 100台

【特 長】

1. 電車線電圧降下補償

変電所から離れるに従い電車線電圧の降下が生じ、走行する電車が多いピーク時になると電車線電圧がさらに降下する。本製品はリチウムイオン電池に貯蔵した電気エネルギーにより電車線電圧の降下を抑制する。

2. 回生電力吸収

電力回生車両を導入した路線で減速や停車のためにブレーキ操作が行われると、電気エネルギーが電車線に放出（回生）するが、本製品はこの電気エネルギーを吸収する電車がない時に蓄電し、電気エネルギーを必要とする時に放電することで回生電力の有効利用に寄与する。

3. 電力ピークカット

朝夕のラッシュなどの電力ピークは電気料金の上昇を招く。本製品は「ピーク電力時の瞬時電力供給」により電力経費の削減を実現する。

【システム容量の一例】

電車線電圧	システム容量	電車線電圧	システム容量
DC600V系 DC750V系	180kW	DC1500V系	360kW
	360kW		720kW
	540kW		1080kW

【株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライの概要】

1. 社名 株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライ
2. 設立 2004年6月1日
3. 本社 東京都港区芝公園2-11-1 (芝公園タワー)
4. 資本金 25億円
5. 従業員 764名
6. 事業内容 産業用電池、電気車用電池、大型リチウムイオン電池、電源システム、受変電設備の製造・販売

【東洋電機製造株式会社の概要】

1. 社名 東洋電機製造株式会社
2. 設立 1918年6月20日
3. 本社 東京都中央区京橋二丁目9番2号
4. 資本金 44億8284万円
5. 従業員 594名
6. 事業内容 鉄道車両用および一般産業用パワーエレクトロニクス機器の製造・販売

【写真】 鉄道用電力貯蔵装置



[この件に関する当社担当部門]

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 広報室 TEL 075-312-1214
 東洋電機製造株式会社 交通事業部 TEL 03-3535-0641